

平成 28 年 1 月 12 日

## 「教員採用等の申し出書」、「教員公募依頼書」、「教員資格審査書」及び「教員資格審査要旨」の作成の手引き

本手引きは、工学部教員選考規程に基づき「教員採用等の申し出」、「教員公募依頼書」、「教員資格審査書」及び「教員資格審査要旨」を作成するためのものである。

作成にあたっては以下の様式第 1 号～第 4 号に従って、別紙の記載例を参考にして作成する。

1. 「教員採用等の申し出」について（様式第 1 号）  
用紙の大きさは A4 版とし、記載事項及び内容は別紙の記載例を参考とする。
2. 「教員公募依頼書」について（様式第 2 号）  
用紙の大きさは A4 版とし、記載事項及び内容は別紙の記載例を参考とする。
3. 「教員資格審査書」について（様式第 3 号）
  - (1) 構成は、「表紙」以降、次のとおりとする。
    - ①判定書（様式第 3 号-1）
    - ②履歴書（様式第 3 号-2）  
【学歴】、【学位】、【職歴】、【免許・資格】、【賞罰】
    - ③研究面における活動（様式第 3 号-3）  
【著書】、【学術論文】、【学位論文】、【プロシーディング】、【参考論文】、【登録特許】、  
【特許出願】、【他の知的財産】、【免許・資格】、【講演発表】
    - ④教育面における活動（様式第 3 号-4）  
【学部等】、【大学院】、【非常勤】
    - ⑤大学運営における活動：大学等の高等教育機関からの任用者を対象とする。（様式第 3 号-5）  
【委員会等の活動】
    - ⑥学会及び社会における活動（様式第 3 号-6）  
【所属学会】、【学会における活動】、【地域における活動】、【社会への教育貢献】
    - ⑦科学研究費等の外部資金の獲得状況（様式第 3 号-7）  
【科学研究費】、【共同研究】、【受託研究】、【その他の競争的資金】
  - (2) 書式について
    - ①用紙の大きさは A 4 版とし、表紙を除いて上記の構成の順に各頁に番号を付す。
    - ②履歴書の【学歴】は高等学校卒業から記す。
    - ③研究面における活動
      - (a) 著書、学術論文、学位論文、プロシーディング及び参考論文について
        - i 欧文題目の記載は、原著論文に依らず、筆頭文字のみを大文字とする。（\*1 参照）
        - ii 著者名は本人も明記し、5 名以上の場合は 5 名を記載し、他〇〇名と記すとともに、本人の順位を明確にする。（\*2 参照）
        - iii 学術論文のなかで、本人が直接指導した博士課程の学生には氏名に下線を付す。（\*3 参照）
        - iv 【学術論文】は査読制のある学会誌等に掲載された論文とする。
        - v 【学位論文】は【学術論文】の最後に記し、番号は付けないが学術論文数に含める。
        - vi 【プロシーディング】は、査読制のある国際学会等のプロシーディングに掲載された論文とする。
        - vii 【参考論文】には、査読制のない論文、解説及び総説等を含める。
        - viii 最初に記載する発表誌名は省略せずに記す。

ix 発表誌の巻(号), 頁は, ○○(△△), ▽▽—◇◇の形式で記す. 巻は太字である必要はない.

(b) 特許等について

- i 登録特許、特許出願に区分して記載する。既に登録特許となったものは、特許出願には重複して載せない。
- ii 【登録特許】：発明の名称、登録日、登録特許番号、発明者、出願人を記す。
- iii 【特許出願】：発明の名称、出願日、特許の出願番号、発明者、出願人を記す。
- iv 他の知的財産についても、特許に準じて記載する。

(c) 免許・資格等について

- i 免許や資格等については、その名称、取得年月日、認定した学会あるいは協会等名を記す。

(d) 講演発表について

- i 講演題目は最近のもの10編を発表年月順に記載し、他○○編と記す。
- ii 研究者名は本人も明記し、5名以上の場合は5名を記載し、他○名と記すとともに、本人の順番も記す。

④教育面における活動

【学部等】、【大学院】、【非常勤】の各項目について、担当科目の名称、担当期間や実施した大学等の名称を担当開始年月順に記す。

⑤大学運営における活動

- i 【委員会等の活動】については、大学等の高等教育機関における各種委員会等の委員の活動を記す。
- ii その記載内容として、担当委員会等の名称、担当期間、委員会における役職名称や委員会が所属する大学・学部等の名称について担当開始年月順に記す。

⑥学会及び社会における活動

- i 【所属学会】：所属学会について、所属期間、学会の名称及び会員資格を記す。
- ii 【学会における活動】：学会の運営等に関する活動、学会の各種委員会委員、論文の査読者や学会の講演会等の実施をはじめとする活動を記す。
- iii 【地域における活動】：自治体や公的機関等の各種委員会の委員、および産学官の連携をはじめ各種団体等における学識経験者としての活動を記す。
- iv 【社会への教育貢献】：公開講座・出前講義での講演、体験入学・初等中等教育・生涯教育等への取り組み等の教育貢献を記す。

4. 「教員資格審査要旨」について(様式第4号)

用紙の大きさはA4版とし、対象者の記述は最終学歴からはじめるとする。

以上